

次世代NASプロトコル

Representational State Transfer: RESTは、クライアントがHTTPプロトコル経由でサーバー側へのアクセスを可能にするステートレス・プロトコルである。Simple Object Access Protocol (SOAP)よりシンプルかつオーバー・ヘッドが少ないため、RESTはクラウドストレージのプロトコルとして最も広く使われており、NASおよびオブジェクトストレージ双方で採用されている。

Network File System Version 4: NFSv4が2000年にリリースされているにもかかわらず、NFSの主流バージョンは依然としてNFSv3である。バージョン4の拡張の主な内容は、セキュリティとパフォーマンスである。2010年には、サーバークラスター構成、および複数ノードに分散されたファイルに対する拡張可能な並行アクセス (pNFS) をサポートするバージョン4.1がリリースされた。NFSの歴史においては、新バージョンが採用されるまでには長い時間が掛かるのが常だったが、pNFSの対応が核となって、NFSv4の普及が早まりそうだ。

Server Message Block 3.0: SMB3.0は、Windows 8およびWindows Server 2012とともに導入されていくだろう。このバージョンは、I/O パフォーマンスと拡張性の改善とNFSの多くの機能を取り入れている。

Hadoop Distributed File System: HDFSは、Hadoopのフレームワーク用の、Javaベースによる分散型で、拡張性、移植性に優れたファイルシステムである。現在、EMC Isilonがサポートしているが、他ベンダーも、今新たに興りつつあるビッグデータに対するアプリケーション要件に的確に対応するため、これに続くものと見られる。